

第3回 ふるさとの川の集い 夏休みだあ！川だあ！

7月23日、第3回の「ふるさとの川の集い」を実施しました。

8時頃にはスタッフが詰めかけ、テント設置や危険箇所の確認や、参加者を迎える準備を忙しくこなしていました。(この日のスタッフ23名、内、ふるさとの会会員8名)

受け付け開始の9時ごろには、夏休みに入ったばかりの小学生たちが保護者と一緒にぞくぞくやってきました。この日の参加者は32名。

開会行事の後、『ヨットづくり』。保護者やスタッフに手伝ってもらいながら、絵のようなヨットを組み立てていきます。そして帆には思い思いに絵や文字を書き込んでいました。

そうしてできたヨットは、みんなで川に浮かべて楽しみました。



心地よい流れに乗って

次は『いかだづくり』と『カヌー体験』。

いかだは太めの呉竹10本をつなぎ合わせました。さすがにこれは大人の仕事。子どもたちは、運ばれたいかだに待ちかねたようになり込みます。流れが早くなると歓声を上げ、魚がいると川に顔を付けて覗きます。

カヌー体験ではまずパドルの動かし方を学び、ライフジャケットを身に付けて川へ漕ぎだします。不慣れな子どももやがては上手にカヌーを操り、青く澄んだ川面をスイスイ。親子でこぐ姿が、川面に影を作り、大変涼しそうでした。

そしてこれも子どもたちのお待ちかねメニュー、『そうめん流し』が始まりました。最初の歓声もいつか静かになり、流れてくるそうめんをつかむのに一生懸命でした。その後のスイカも子どもたちは大すき。大きな口でかぶりついていました。

その後『親子クイズ大会』。これは佐々川がつくりだした歴史や、文化、そして自然を問題にしたもので、「直谷城に残る伝説は？」など、少し難しい問題もありましたが、親子で楽しく考えていました。

こうして第3回の「ふるさとの川の集い」を終えました。



いかだに乗ってさあ出発だ



瞬く間の上達、スイスイ



さあ出航だ ボクのヨット



そうめん流し体験



難しい問題も親子で解決